

## 「人の内面状態理解のための生体情報センシング最新動向」

生体センシング技術の向上により、これまで測定が困難であった人体から発せられる多様な情報が、比較的簡易にセンシングできるようになってきました。これにより医療、日常生活等のさまざまな場面で、健康状態や意識等、外面からは直接センシングできない人の内面状態を推定し、これにより新たな価値やサービスを提供しようという動きが活発になってきています。

本講習会では、これら生体情報センシング技術に関してさまざまな角度から迫り、各分野の最前線でご活躍の方々を講師にお招きし、最新技術動向と応用事例、今後の展望等を詳細にご紹介いただきます。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

日 時：2016年10月28日（金） 9時55分～16時45分

場 所：中央電気倶楽部 513号室（大阪市北区堂島浜2-1-25）

堂島地下街南詰を右側に上がり、右へ約50m、左側のレンガ造り建物

### 講演内容：

- |             |  |              |
|-------------|--|--------------|
| 9：55～10：00  | 開講の挨拶  | 電子情報通信学会関西支部 |
| 10：00～11：00 | 「脳機能センシング技術としてのMRI」<br>(株)ATR-Promotions 脳活動イメージングセンタ センタ長 正木 信夫                 |              |
| 11：10～12：10 | 「近年開発が進むウェアラブル生体センサの計測原理と応用」<br>横浜国立大学 未来情報通信医療社会基盤センター 准教授 杉本 千佳                |              |
| 12：10～13：20 | (昼食休憩)   |              |
| 13：20～14：20 | 「ドライバモニタリング技術の研究開発動向と展望 ～自動運転の時代に向けて～」<br>愛知工科大学 工学部 機械システム工学科 教授 荒川 俊也          |              |
| 14：30～15：30 | 「医療・ヘルスケア応用を指向した化学・バイオセンシング技術 ～その基礎から応用まで～」<br>大阪府立大学 大学院工学研究科 物質・化学系専攻 教授 久本 秀明 |              |
| 15：40～16：40 | 「人の内面状態のカジュアルセンシングを目指したミリ波心拍センサ技術」<br>パナソニック(株) 先端研究本部 主幹研究員 酒井 啓之               |              |
| 16：40～16：45 | 閉講の挨拶  | 電子情報通信学会関西支部 |

聴 講 料： 主催学会会員（正員10,000円、准員・学生員 無料）、  
非会員（一般12,000円、学生2,000円）  
（会員、非会員共に消費税込み）  
（電気学会、映像情報メディア学会、照明学会、情報処理学会の会員の方は会員価格で参加いただけます。）

定 員： 80名（定員になり次第、締め切らせて頂きます）

申込方法： 開催日・会員種別・氏名・連絡先（会社学校名・所属・郵便番号・所在地・電話番号）を電子情報通信学会関西支部のホームページ（<http://www.ieice.org/kansai/>）からお申込み下さい。なお、葉書、FAX、E-mailでも受け付けますので下記にお申込み下さい。

申 込 先： 〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-25 中央電気倶楽部内  
関西電気関連学会事務センター  
TEL (06)6341-2529 FAX (06)6341-2534 E-mail denki4g@ares.eonet.ne.jp

主 催： 電子情報通信学会・電気学会・映像情報メディア学会 各関西支部